



令和4年度全国中学校体育大会シンボルマークに採用、快挙です！

令和4年度全国中学校体育大会（北海道・東北ブロック大会）のシンボルマークに、本校3年の伊藤美春さんの作品が最優秀賞となり、大会のシンボルマークとして採用されることが決定しました。シンボルマークへの出品数は、なんと7,113点。その中から1点のみに与えられる最優秀賞に輝いた作品が右のマークです。伊藤さんはこのマークをデザインする際に、北海道と東北地方が持つイメージである雪の結晶をモチーフにし、中の模様は1道6県の県名をカタカナにした際の頭文字を躍動感のあるピクトグラムにして表現したのだそうです。令和4年度、今の1年生の皆さんが3年生の時に行われる中体連全国大会では、ポスターやメダル等にこのシンボルマークが使用されます。伊藤さん、おめでとうございます！



スクール サポート スタッフが配置されました

福島県では、教職員の日常業務のお手伝いをし、てくださるスクールサポートスタッフを各学校へ配置する事業を進めています。

本校にも月曜日から櫻岡秀治さんが来てくださり、毎日元気にお勤めされています。学校を支えてくださる「縁の下力」の力持的存在です。生徒の皆さんと直接接する機会は少ないと思いますが、見かけたときは元気なあいさつをお願いしますね。



三者面談、お世話になりました

11月2日からスタートした三者面談も、今週で終了となりました。保護者の皆様には、お忙しいところお仕事のご都合をつけながらご来校いただき、誠にありがとうございました。短い時間ではありましたが、お子様の学習、学校生活、そして進路についてお話しができたことに感謝申し上げます。

今後も学校と家庭とが力を合わせながら、お子様たちの成長を支えてまいります。



こんな記事を見つけました ~ 読売新聞の投稿欄より ~

11月17日（火）付けの読売新聞に掲載された小学生の作文を紹介します。

「かぞくのいぞんしょう、なくなって」 小学生 中村嬉子（8歳）



わたしのかぞくは、ぜんいんいぞんしょうです。お兄ちゃんも、けいたいいぞんしょう。わたしはなしなんか、ちっともきいてくれません。お父さんは、わたしいぞんしょう。わたしをみるたび、くっついてきます。お母さんとお姉ちゃんは、かんこくドラマいぞんしょう。リモコンのとりあいをします。わたしはユーチューブ。おばあちゃんはアイススケート。おじいちゃんはビールです。かぞくみんな、いぞんしょうがなくなったらいいな。みんなでたのしいことがしたいな。

最後の「みんなでたのしいことがしたいな。」の言葉に、ちょっとドキッとさせられ「自分はどんな依存症だろう」と思わず考えさせられてしまいました。依存症とまでいかなくとも、何かに夢中になるあまり、大切な時間や人とのつながりを失っていることがあるかもしれません。皆さんもちょっと自分自身の姿を振り返ってみましょう。

<次週の予定>

日	曜	主な行事
23	月	● 勤労感謝の日
24	火	B日課 避難訓練 学校評価用紙配付 生徒会役員選挙立候補届出期間
25	水	体育祭（2年）
26	木	体育祭（1年）
27	金	体育祭（3年） 学校評価用紙回収締切 生徒会役員選挙立候補届出最終日

※ 感染対策のため体育祭の参観はご遠慮ください。

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

楽しいことも悲しいことも、
嬉しいことも悔しいことも、
すべてが成長のために欠かせない
貴重な体験です。



～ 日々起こるすべての出来事が、勉強なんだよ ～